

平成 29 年度事業報告

1. 実務修習業務規程等の改正について

- (1) 前年度に引き続き、国土交通省における不動産鑑定士試験実施の改善に並行して、受験者層の拡大に合わせた制度構築を図るべく、各課程（実務に関する講義、基本演習、実地演習及び修了考査。以下同じ。）の受講形態から必要とされる課題の内容、量、修了考査の実施方法までのすべての段階について、検討を進め、これらの検討結果に基づき、実務修習業務規程及び実務修習業務規程施行細則について、一部改正を行いました（平成 29 年 5 月 23 日付第 315 回理事会承認、同年 7 月 12 日付国土交通大臣認可）。

主な改正点は、①実務に関する講義の実施方法の変更（集合形式からインターネットを利用した通信形式（以下、「e ラーニング」という。）への移行）、②基本演習における類型の追加、③実地演習における類型の削減及び提出書類・提出方法の変更、④修了考査における論文式の考査の実施方法の変更（集合形式による実施・多肢択一式問題の出題）及び再受験の機会の増設、⑤実務修習料金の改定、⑥実地演習実施機関及び指導者等の認定要件等の変更、その他所要の改正となっています（平成 29 年 12 月 1 日から実施する実務修習より適用）。

- (2) 上記(1)の改正に伴い、実務修習の各課程に係る具体的な実施方法等を定めた実施要領等についても、見直し後の内容に対応するべく、一部改正を行いました。

2. 第 12 回実務修習の実施に向けた準備について

- (1) 実務修習教材の作成

第 12 回実務修習に向けて、上記 1.の改正内容に基づき、講義、基本演習及び実地演習の各課程の教材を改訂・作成いたしました。

- (2) e ラーニングによる講義の配信

実務に関する講義の実施方法の変更に伴い、従前集合形式により実施していた 13 科目について、e ラーニングによる講義の収録を行い、平成 29 年 12 月に配信いたしました。

- (3) 実地演習における電子提出が可能なシステムの導入

実地演習における提出書類の提出方法の変更（書面提出から Web 上の電子提出）に伴い、既存のオンラインストレージサービス（BIGLOBE クラウ

ドストレージ)の導入を行い、第12回実務修習に係る提出書類の受付体制を整備いたしました。

3. 平成29年度実務修習実施状況について

今年度における実務修習については、「不動産の鑑定評価の実務に関する講義」、「基本演習」、「実地演習」、「修了考査」の各段階に分け、次のとおり実施いたしました。

(1) 実務修習生の在籍状況

第12回実務修習は平成29年12月から、134名の実務修習生を迎えて実施されております。第11回実務修習までの実務修習生を加えた平成29年12月1日現在の実務修習生の在籍総数は291名で、その内訳は次表のとおり。

回 コース	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
1年	0	0	1	10	80	84
2年	2	1	9	23	30	50
3年	0	1	0	0	0	—
小計	2	2	10	33	110	134

※ 第12回実務修習より3年コースは廃止。

(2) 各課程の実施状況

実務修習の各課程の実施状況は、次のとおり。

なお、実務修習生の各課程の単元の認定に当たっては、実務修習審査会を7回に亘り開催し、課程別の審査基準に基づき、それぞれ適正に審査を実施いたしました。

ア. 不動産の鑑定評価の実務に関する講義（以下、「講義」という。）

	開催日	開催場所	主な対象者
後期	平成29年6月1日(木) ～6月3日(土)	JA共済ビル カンファレンスホール	第11回修習生
eラーニング	平成29年12月1日(金) ～配信開始		第12回修習生

イ. 基本演習

	開催日	開催場所	主な対象者
第一段階	平成 29 年 4 月 14 日(金) ～4 月 15 日(土)	ベルサール西新宿 (東京)	第 11 回修習生
	平成 29 年 4 月 21 日(金) ～4 月 22 日(土)	新梅田研修センター (大阪)	第 11 回修習生
第二段階	平成 29 年 8 月 18 日(金) ～8 月 19 日(土)	ベルサール西新宿 (東京)	第 11 回修習生
	平成 29 年 8 月 25 日(金) ～8 月 26 日(土)	天満研修センター (大阪)	第 11 回修習生

ウ. 実地演習

実務修習生の物件調査実地演習及び一般実地演習の報告は、1 年を 3 期に分け、実務修習生が選択した実務修習期間別に報告が行われました。

(3) 修了考査の実施

第 11 回修了考査は、平成 30 年 1 月 22 日(月)から 1 月 25 日(木)までの期間で実施いたしました。実務修習の全課程を修得した実務修習生 121 名が受験し、107 名の実務修習生が実務修習を修了いたしました。

(4) 平成 29 年度実務修習実施計画の公表

実務修習業務規程第 6 条の規定に基づき、第 12 回実務修習の実施に向けて、「平成 29 年度実務修習実施計画」を策定し、平成 29 年 9 月に本会 Web ページにおいて公表いたしました。

(5) 実務修習指導鑑定士研修の改訂

実地演習に係る指導鑑定士及び指導鑑定士登録予定者等を対象として、実地演習の指導内容等について整合性を図ること等を目的とする実務修習指導鑑定士研修については、上記 1.の実務修習業務規程等の改正内容に基づき、研修内容の改訂を行い、JAREA-e 研修において、配信いたしました。

平成29年度実務修習会計決算書
正味財産増減計算書
平成29年4月1日から平成30年3月31日

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
修習料収益	43,561,900	34,889,800	8,672,100
講義料収益	16,399,300	13,232,700	3,166,600
基本演習収益	12,332,100	11,998,800	333,300
審査料収益	13,340,500	9,631,300	3,709,200
研修料収益	1,490,000	27,000	1,463,000
修了考査料収益	3,726,800	3,757,600	△ 30,800
修了考査料収益	3,726,800	3,757,600	△ 30,800
雑収益	5,215,000	6,054,540	△ 839,540
雑収益	5,215,000	6,054,540	△ 839,540
経常収益合計	52,503,700	44,701,940	7,801,760
(2)経常費用			
事業費	51,559,445	52,292,424	△ 732,979
給料手当	14,838,385	14,249,926	588,459
旅費交通費	1,309,177	1,744,145	△ 434,968
通信運搬費	1,648,871	1,534,023	114,848
消耗品費	84,150	105,504	△ 21,354
印刷製本費	5,166,177	5,909,476	△ 743,299
光熱水料費	312,984	247,848	65,136
賃借料	4,921,344	4,301,832	619,512
設備賃借料	320,052	520,104	△ 200,052
会議費	5,166,381	6,646,160	△ 1,479,779
修繕費	437,676	367,224	70,452
諸謝金	12,280,600	11,655,600	625,000
委託費	1,775,293	2,756,781	△ 981,488
業務委託費	1,613,815	1,477,533	136,282
支払手数料	271,018	74,636	196,382
租税公課	600,000	603,500	△ 3,500
減価償却費	765,408	0	765,408
雑費	48,114	98,132	△ 50,018
経常費用合計	51,559,445	52,292,424	△ 732,979
当期経常増減額	944,255	△ 7,590,484	8,534,739
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益合計	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	944,255	△ 7,590,484	8,534,739
一般正味財産期首残高	△ 559,579	7,030,905	△ 7,590,484
一般正味財産期末残高	384,676	△ 559,579	944,255
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	384,676	△ 559,579	944,255

貸借対照表
平成30年3月31日

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	28,263,564	14,996,822	13,266,742
未収金	563,000	27,000	536,000
前払金	578,224	585,386	△ 7,162
流動資産合計	29,404,788	15,609,208	13,795,580
2.固定資産			
(1)特定資産			
特定費用積立金	0	12,000,000	△ 12,000,000
特定資産合計	0	12,000,000	△ 12,000,000
(2)その他固定資産	6,123,264	0	6,123,264
固定資産合計	6,123,264	12,000,000	△ 5,876,736
資産合計	35,528,052	27,609,208	7,918,844
II 負債の部			
1.流動負債			
前受金	35,121,600	28,149,100	6,972,500
未払金	21,776	0	21,776
預り金	0	19,687	△ 19,687
流動負債合計	35,143,376	28,168,787	6,974,589
2.固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	35,143,376	28,168,787	6,974,589
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
2.一般正味財産	384,676	△ 559,579	944,255
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(12,000,000)	(△12,000,000)
正味財産合計	384,676	△ 559,579	944,255
負債及び正味財産合計	35,528,052	27,609,208	7,918,844

実務修習会計

財産目録

平成30年3月31日

単位:円

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
流動資産	普通預金	みずほ銀行虎ノ門支店	運転資金として	28,263,564
	未収金	一般会計	実務修習講義・宅地見込地の鑑定評価(e研修)受講料他	563,000
	前払金	一般財団法人日本教育会館	実務修習会場予約金の前払金	328,816
		山下建築設計事務所他	実務修習に係る建物図面作成料	172,800
		(有)山口不動産鑑定所他	実務修習に係る登記情報サービス利用料他	76,608
流動資産合計				29,404,788
固定資産	特定資産			0
	その他の固定資産	ソフトウェア	実務修習講義・更地の鑑定評価(e研修)コンテンツ制作費他	6,123,264
固定資産合計				6,123,264
資産合計				35,528,052
流動負債	前受金	平成30・31年度実務修習受講料	講座、セミナー、育成の実務修習の業務に使用する翌事業年度受講料他	35,121,600
	未払金	ヤマト運輸(株)他	実務修習に係る資料送料	21,776
流動負債合計				35,143,376
固定負債	固定負債			0
固定負債合計				0
負債合計				35,143,376
正味財産				384,676

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
ソフトウェアは残存割合を零として定額法による減価償却を実施している。
- (3) 消費税の会計処理
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位:円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金引当預金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
特定費用積立金	12,000,000	0	12,000,000	0
小 計	12,000,000	0	12,000,000	0
合 計	12,000,000	0	12,000,000	0

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位:円

科 目	当期末残高	内指定正味財産 からの充当額	内一般正味財産 からの充当額	内負債に 対応する額
基本財産				
基本金引当預金	0	-	(0)	-
小 計	0	-	(0)	-
特定資産				
特定費用積立金	0	-	(0)	-
小 計	0	-	(0)	-
合 計	0	-	(0)	-

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計及び当期期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期期末残高は、次のとおりである。

単位:円

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	6,888,672	765,408	6,123,264
合 計	6,888,672	765,408	6,123,264

5. 重要な後発事象

重要な後発事象はない。